「ＩＴで出来ること、

知る権利・伝える権利」

**2月27日（火）**13：30～16：30

会場：昭島市保健福祉センター（あいぽっく）4階　講習室

奥山俊博氏　東京大学先端科学技術研究センター

**「自分にあった入力装置を探そう・使ってみよう」**

**３月13日（火）**13：30～16：30

会場：昭島市保健福祉センター（あいぽっく）4階　講習室

堀米真理子氏　東京都障害者ＩＴ地域支援センター

**「ＩＴを使いこなそう・開発の現場から」**

**３月２０日（火）**13：30～16：30

会場：昭島市立武蔵野会館　第1集会室

小野雄次郎氏　（株）ユープラス

**定員：１０名**

**対象：障害当事者**

**支援者**

**※全回参加できる方**

※各回開場は開始３０分前です。



情報社会と言われる昨今、様々なものがインターネットとつながっています。

ちょっとした知識があれば、パソコンやスマートフォン、タブレットで必要な

情報が得られ、ネット上でショッピングもでき、画面上で本が読める…。

これらの道具は重度の障害がある人にとって、生活を豊かにする強い味方となり得ます。言語障害の人が使いこなせばコミュニケーションが円滑になり、重度の肢体不自由の人が使いこなせば、介助がなくても情報の入手や家電の操作ができ、また、絵カードのように使い、意思を言語化できない人のコミュニケーションをサポートすることもできます。

こうした便利なツールを使う為の、障害や状態に応じた機器が色々とあります。ＩＴ支援機器を実際に操作し、どんなソフトやアプリで何ができるのかを体験してみませんか？



申し込み先　自立生活センター・昭島

ＴＥＬ　042‐545‐7553　ＦＡＸ　042‐545‐7637

ＭＡＩＬ　cila@nifty.com

ブログ「自立生活センター・昭島の日常」

**各回内容**

**第１回「ITで出来ること、知る権利・伝える権利」**

日常生活の中で、様々な情報を知ることや自分の意思や思いを伝えることは大変重要ですが、障害ゆえに困難な場合があります。しかしタブレットやスマホなどIT機器があれば、情報のバリアフリー化も可能です。また、情報保障の視点から、知る権利・伝える権利を学び考えます。

**第２回「自分に合った入力装置を探そう・使ってみよう」**

肢体不自由の方の物理的な困難さをケース別に考え、道具を通して支援技術を考えます。呼気スイッチを初めとした様々な入力装置や、Windowsやスマートフォン・タブレットが基本機能として持っているアクセシビリティ（操作をしやすいように設定を変えられる機能）を学び、操作特性を実機体験できます。

**第３回「ＩＴを使いこなそう・開発の現場から」**

タブレットやスマホまたはPCがあれば、コミュニケーションツールとして自分の思いを表わす事や、家電操作のリモコンとして使うなど様々な事ができます。トーキングエイドの開発に携わった方を講師に招き、IT機器を使いこなすノウハウを学び、新たな可能性・世界を広げてみませんか。

IT支援講座　申込書

FAX送信先：042-545-7637

|  |  |
| --- | --- |
|  |  〒　　　－住所 |
| 所属　　□ 個人　□ 団体 （　　　　　　　　　　　　　　　　　） | TELFAX |
| 障害について・障害 …… □ ある　　　□ない・障害の状況、または、講座参加中に留意するべき点について、具体的にお書き下さい。※手話通訳、音声、点字等の配慮をご希望の方は、１週間前までにお知らせ下さい。 |
| 講師の方に聞いてみたいことがありましたら、ご記入ください。 |
| 当団体が発行している「CILあきしま通信」にて、学習会等のご案内を行っております。送らせていただいても構いませんか。 |
| □　すでに送付されている | □　送付可 | □　不要 |
| この学習会をどちらでお知りになりましたか。 |
| □　CILあきしま通信□　昭島地域福祉ネットワーク□　その他（ | □　TILかわら版□　社協報「ありがとう」 | □　JILホームページ□　市報） |

FAX・郵送またはメールにてお申し込みください。ブログからのお申し込みも受け付けています。